

小・中学校における 租税教育指導事例集

平成 26 年 3 月

登米市租税教育推進協議会

登米市小・中学校における税の教科書として

「平成25年度租税教育指導事例集」の発刊に当たり、一言申し上げます。

皆様ご承知のとおり、憲法には国民の義務として、教育の義務、勤労の義務、納税の義務が定められており、一般に国民の3大義務と呼ばれています。

納税の義務によって納められた税金は、国民の暮らしを良くし守るため、社会保障、公共事業、文教科学振興、防衛関係等に使われているところです。このように税金、税制度は、国の運営の根幹を支える重要なもの、制度であり、私たちの生活、暮らしに直接結び付く、とても大切なものであります。

これらの税制度は、毎年改正が行われておりますが、今年の4月1日から8%に引き上げになる消費税は、国民全てに影響が大きいことから非常に注目されているところです。

まさに今、税金の重要性について見つめなおす絶好の機会でもあり、言い換えれば私たちの生活に果たす税金の役割について、体感する時にもあると言えるのではないのでしょうか。

小・中学校において、税金が私たちの生活に果たす役割やその必要性を学ぶ租税教育は、誠に重要であり、その内容、指導のあり方を様々な事例で紹介する本書は、極めて有効な税の教科書であると認識し、その効果を期待するところです。

本年度は小学校8校、中学校2校の実践事例が紹介されていますが、いずれの学校でも、小・中学生の段階から税を理解させるため、さまざまな工夫を凝らしながら取り組まれており、今後の教育活動にも大いに参考になるものであります。各学校においても、ぜひ取り入れていただきたいものと考えております。

最後になりますが、登米市租税教育推進協議会の運営と、今回の研究の取りまとめに当たっていただいた佐沼税務署の皆様のご尽力、さらには各教育現場の先生方のご努力とご支援に、心から感謝を申し上げ、本書発刊に際してのあいさつとさせていただきます。

平成26年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会教育長

片倉敏明

目 次

小学校指導事例

① 第6学年	北方小学校	教諭	佐藤 純	1
② 第6学年	米谷小学校	教諭	阿部 孝紀	5
③ 第5学年	石森小学校	教諭	千葉 裕子	9
④ 第6学年	上沼小学校	教諭	佐藤 勉	15
⑤ 第5学年	中津山小学校	教諭	菅原 真理	21
⑥ 第6学年	石越小学校	教諭	門田 洋之	25
⑦ 第6学年	西郷小学校	教諭	佐藤 眞紀	31
⑧ 教務主任	横山小学校	教諭	鈴木 明美	37

中学校指導事例

① 社会科	登米中学校	講師	遠藤 孝	41
② 社会科	米山中学校	教諭	清水 裕治	45

平成 25 年度 租税教育実践例（第 6 学年社会科）

登米市立北方小学校
教諭 佐藤 純

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治
小単元名 わたしたちの願いを実現させる政治

2 単元について

本単元は、学習指導要領の目標「1（2）日常生活における政治の働きと我が国の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする」の内容を扱う。

この単元での主な学習内容は、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを具体的に考えるようにすることである。

単元の構成は大きく二つに分かれており、前段で地方公共団体や国の政治の働きについて、後段で日本国憲法の基本的な考え方について学んでいく。この学習の中で、国民の願いが生かされる政治を実現するために、税金が果たす大きな役割について知るとともに、税の種類についても学んでいく。

3 児童の実態（在籍 31 名）

本単元を指導するにあたり、簡単な実態調査を行った。その結果、児童全員が「税金」という言葉を聞いたことがあった。また、「知っている税は何か」を尋ねると、「消費税」と答えた児童が最も多かった。さらに、「税金は何に使われているか」を尋ねたところ、ほとんどの児童が「分からない」と答えたが、一部の児童は「学校に関することに使われていると聞いたことがある」「道路を整備するために使われている」と答えた。「税金は必要か」という問いに対して、「必要である」と答えた児童はおよそ半数となり、あとの半数は「必要ない」と答えた。

「税金」という言葉の認知度は高いが、その意味や仕組み、用途については知らない児童が多く、税金が果たす役割について具体的に考えさせていく必要があると考える。

4 指導の着眼

以上のような実態を踏まえて、次のような点に留意して指導にあたりたい。

- ① これまでに学習した「租・調・庸」、「年貢」、「地租」などの語句をおさえさせる。
- ② 国民の義務として、納税の義務があることを学び、その必要性についておさえさせる。
- ③ 税務署の職員をゲストティーチャーとして招き、税金の意味や仕組み、用途について理解させる。

5 単元の目標

- ・ 地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

6 指導計画 (10時間扱い 本時5/10)

時	学習内容	指導上の留意点
1	○子育て支援センターの見学 ・子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。	・子育て支援センターで取り組んでいる活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。
2	○ソーレの活動 ・子育て支援センターを見学したり、所長さんの話を聞いたりして、どんな目的で、どんな活動が行われているか調べる。	・子育て支援センターで行われている様々な活動の目的について考えさせる。
3	○住みよいまちを目指して ・市役所や市議会を見学したり、市役所の人の話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。	・子育て支援センターの活動が始められた経過について、市役所や市議会の働きと関連付けて調べさせる。
4	○税金の働きを調べる ・子育て支援センターを建設したり、運営したりするための費用がどこから出ているのか、収集した資料をもとに調べる。	・子育て支援センターにかかる費用をもとに、税金が重要な役割を果たしていることについて気付かせる。
5 本時	○税金について考える ・今まで学習してきたことをもとに、税金がなくなったらどのようなになってしまうのか、税金はなぜ必要なのかを考える。	・税金はみんなのために使われているので、みんなから集めているということに気付かせる。
6	○国の政治1－国会の働き ・国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会の仕組みや働き、選挙の役割について、分かったことや考えたことを話し合う。	・国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関連で調べさせる。
7	○国の政治2－内閣の働き ・内閣に関する資料を収集して調べ、内閣の仕組みや働きについて、分かったことや考えたことを話し合う。	・内閣の仕組みや働きについて、国民の願いとの関連で調べさせる。
8	○国の政治3－裁判所の働き ・裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、分かったことや考えたことを話し合う。	・裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。
9	○もっといろいろ調べてみよう ・東松山市で行われている、さまざまな福祉事業について、収集した資料をもとに調べる。	・東松山市の福祉事業について、グループや個人で調べさせる。
10	○まちづくりにわたしたちの声を生かそう ・学習したことをもとに、みんなの願いを生かした公園を作るために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。 ○国民の祝日について考えよう ・国会でつくった法律によって定められた国民の祝日について、話し合う。	・子どもやお年寄りなど、いろいろな人が公園に対してどのような願いをもっているかを考えさせる。 ・それぞれの役目について、設けられた意義について考えさせる。

ま と め る 5 分	4 学習したことをまとめる (1) 税金を払うべきか、払わなくてもよいかを確認する。 ・払うべき … 31名 (2) 本時で学んだことをまとめる。 ・税金の大切さがわかった。	○本時を振り返らせることにより、税金の役割や大切さについてまとめる。	
--------------------------------	---	------------------------------------	--

8 実践を終えて

- ・ ゲストティーチャーを招いての授業は、児童の興味・関心を高める要因となった。また、専門的な話を分かりやすく解説していただいたことで、税金に関するさまざまな知識に触れることができた。
- ・ DVD教材は、もしも税金がなかった場合どうなるかが分かりやすく作られており、児童は真剣に見入っていた。また、税金の大切さを、実生活と結びつけて考えることができた。
- ・ 授業を行う前は「税金を払わなくてもよい」と考えていた児童も、授業後には「払うべき」と答えるようになった。税金の大切さを知るとともに、自分たちも『税金』という形で国政に参画しようとする意識が高まったものと考えられる。

1 単元名 社会科「わたしたちの生活と政治」

小単元「わたしたちの願いを実現する政治」 ―税金の働きを調べる―

2 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることや、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など、国家や国民生活の基本を定めていることなどについて調べ、わが国の政治の働きを具体時に捉えることである。そして、子育て支援施設の具体的な活動を通して人々の願いが実現されていく過程を具体的に調べるとともに、国の政治の仕組みにもつなげていく流れになっている。

(2) 児童の実態（男子12名、女子12名、計24名）

税金についての学習を行うにあたり児童にアンケート調査を実施した。税金という言葉は「日本の歴史」の単元で学習したので全員が知っているとは回答した。税金の種類については全員が「消費税」「関税」を挙げた。その他は「住民税」「土地にかかる税」「自動車税」や、少数であるが「酒税」「印税」「固定資産税」などが挙げられた。

税金の使われ方については、「橋や道路の修理や公共施設の建設や補修」「警察、消防などの公務員の給料」「教科書」などを挙げている。また、全員が税金は必要だと回答し、税金が無いと生活が不便になると感じている。

税金について知りたいことについては「税金の種類」がもっとも多く、その他は「税金の使われ方」「集められる税金の金額」などであった。

歴史の学習から、税が古来よりあることや社会生活の中で使われていることは知っているが、税金の具体的な使われ方や集められ方、種類については認識していない実態が伺える。

(3) 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、税金についての理解を深めるために次のような点に留意して指導にあたる。

① 教科書と共に学習資料「わたしたちのくらしと税金」を活用し、身近な公共施設、公共事業や東日本大震災の災害復旧などに税金が使われていることを調べ、税金が自分のたちの生活に大切な役割を果たしていることに気付かせる。

税の仕組みや必要性の集められ方、種類などを調べることで税についての理解を深める。

② 租税教育用ビデオ(アニメ)「マリノと不思議な日曜日」を視聴し、税金が無い社会を考えさせることで税金の必要性や仕組みについて考えさせる。

3 小単元の目標

地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりを考えようとする。

4 指導計画(9時間扱い 本時4/9)

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	①子育て支援センターの見学 子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。	・ 子育て支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。
2	②ソーレの活動 子育て支援センターを見学したり、所長の話の聞いたりして、どんな目的で、どんな活動が行われているのかを調べる。	・ 子育て支援センターで行われている、さまざまな活動の目的について考えさせる。
3	③住みよいまちを目指して 市役所や市議会を見学したり、市役所の人の話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。	・ 子育て支援センターの活動が始められた経過について、市役所や市議会の働きと関連づけて調べさせる。
4 本時	④税金の働きを調べる。 子育て支援センターを建設したり、運営したりするための費用がどこから出ているのか、収集した資料をもとに調べる。	・ 子育て支援センターにかかる費用をもとに、税金が重要な役割を果たしていることについて気づかせる。 ・ 租税教育用ビデオ活用 ・ 学習資料「わたしたちのくらしと税金」活用
5	⑤国の政治1—国会の働き 国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会の仕組みや働き、選挙の役割について、わかったことや考えたことを話し合う。	・ 国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関係で調べさせる。 ・ 学習資料「わたしたちのくらしと税金」活用
6	⑥国の政治2—内閣の働き 内閣に関する資料を収集して調べ、内閣の仕組みや働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	・ 内閣の仕組みや働きについて、国民の願いとの関係で調べさせる。 ・ 学習資料「わたしたちのくらしと税金」活用
7	⑦国の政治3—裁判所の働き 裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	・ 裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。 ・ 国会、内閣、裁判所の関係を考えさせる。
8	⑧もっといろいろ調べてみよう さまざまな福祉事業について、収集した資料をもとに調べる。	・ 福祉事業について、グループや個人で調べさせる。
9	⑨1—まちづくりになわたしたちの声をいかそう 学習したことをもとに、みんなの願いをいかした公園をつくるために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。 2—国民の祝日について考えよう 国会でつくった法律によって定められた国民の祝日について、話し合う。	・ 子どもやお年寄りなど、いろいろな人が、公園に対して、どのような願いをもっているかを考えさせる。 ・ 学習資料「わたしたちのくらしと税金」活用 ・ それぞれの祝日について、設けられた意義を考えさせる。

5 本時の指導

(1) 題材名

税金のはたらきを調べる

(2) ねらい

市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることを理解する。

(3) 準備物

○児童 ・ 小学校社会用学習資料「わたしたちのくらしと税金」

○教師 ・ PC ・ プロジェクター ・ スクリーン

・ 租税教育用ビデオ(アニメ) 「マリンとヤマト不思議な日曜日」 www.nta.go.jp

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	学習の様子 ・ 児童の反応
つかむ 5分	<p>1 前時の学習を振り返る。 ○子育て支援センターの建設費用に税金が使われていることを確認する。</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。 税金のはたらきを考えよう。</p>	
考える 32分	<p>3 資料から税金について調べる。 ①どのような税金があるのかを知る。 ②税金の使い道について知る。</p> <p>4 税金の必要性を考える。 ○租税教育ビデオ「マリンとヤマト不思議な日曜日」を視聴し、税金が無くなったら社会生活がどうなるかを考える。 ○市内の公共施設や学校の備品にも税金が使われていることを確認する。</p>	<p>・消費税 ・関税 ・自動車税</p> <p>・教科書や学校の机 ・道路</p>  <p>・税金がないと生活が不便になる。</p>
まとめる 8分	<p>5 学習のまとめを行う。 ○公共施設やサービスに税金が使われていることを確認し、税金の果たす役割に気付かせる。</p>	 <p>・税金のおかげで、いろいろな人が助かっている。</p>

(5) 評価

【知識・理解】

市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることを理解することができたか。

(発言・ワークシート)

6 児童の感想

- ・ ビデオを見て税金がなくなると大変だと思った。道路がぐちゃぐちゃになったり、消防署にお金を払うようになったり、本当にそのような事になったらどうしようと思った。税金はいらな思っていたけれど、払った分いろいろな人が助かると分かった。
- ・ 税金があると大変だと思う人もいるけれど、税金のおかげでわたしたちの生活がよくなっているということが分かりました。
- ・ 税金はいろいろな種類があり、みんなのために使われるものなので無くなると大変だと思った。いろいろなところでお金を使わなければならない、生活が不便になってしまう。もっと税金について知りたいと思った。

1 活動名 生活の中の税金

2 活動のねらい

- (1) 我が国の税金について関心を持ち、身近な税に関して積極的に関わろうとすることができる。
- (2) 身の回りには税に関するものがたくさんあり、それらはすべて日常生活において欠かすことのできないものであることを理解することができる。
- (3) 自分の生活の中で税金がどのように使われているのかを調べ、少しずつ意識していこうとする気持ちを持つことができる。

3 活動にあたって

我々国民の生活は、税と密接に関わっている。税金は、豊かな社会生活を支える根底をなすものであり、安定した生活を送るためのかけがえのないものの一つである。

しかしながら、子どもたちにとって税はあまり身近なものとはいえない。自分たちの買い物にかかる消費税はいくらか、という程度の知識しか持ち合わせていないのが現状である。そこで、税が果たしている役割に気づかせることにより、子どもたちが通う学校や公共施設、地域社会などへの関心と愛情を育成していきたいと考える。さらに、国民生活を支える必要不可欠なものとしての税を大切に思う気持ちも育んでいくようにしたい。

4 児童の実態（男15名、女7名、計22名）

子どもたちの日常生活において、消費税はよく耳にする言葉であるが、大人だけが支払っているものであるという意識が強い。税という言葉に対して「消費税」を思い浮かべたのは約半数だったが、それが生活にどんなふうに使われるのかは一人も分からなかった。

一番身近な消費税の必要性や使い道について学ぶことにより、自分の国の税金について少しでも理解し、税金と生活の密接な関係を把握させたいと考える。

5 教師の願い（指導の着眼）

児童の実態から、子どもたちはなぜ税金があるのか、どのような目的でどう使われているのかということを知らないので、まず税金とは何かという



ことを知り、支払っている税金がどのように使われているのかを登米法人会青年部会の方と一緒に学習することにより、税について興味・関心を持ち、理解を深めていきたい。

6 活動計画

- 第1時 税金という言葉調べ、税について自分が知っていることを発表後疑問に思っていることや調べたいことなどをまとめる。
- 第2時 登米法人会青年部会の方を「ゲストティーチャー」として来校していただき、税金がどんなところに使われているかを中心に学習する。
- 第3時 学習したことについて、感想を書き、税金について分かったことをこれからの生活で生かしていこうとする態度を養う。

7 活動の様子（第2時）



- ① Q みんなの知っている税金って？
税金の名前、分かる人？
A ー消費税！ー
Q 他にないかな？
A . . .
- ② Q 消費税の他にも、所得税、酒税
たばこ税、相続税、. . . などたくさんあります。
A へええ。お父さんが飲んでいるビールにも？

ー1億円の模型を提示ー

- A うわあ。すごい。重いのか？ 本物？
こんなに. . .、どうしてだろう。
お金、なくなってしまうんじゃない？
何に使われるのかな？

③ Q こんなに支払わなければならない税金をみなさんはどう思いますか。

- ・ 税金なんて知らない、払いたくない。
- ・ 税金は必要だ、払ったほうがいい。
- ・ わからない。

A 払うなんて、もったいない。(3～4名)

家でも払っているかも。(10～11名)

うーん難しい。(4～6名)

④ Q 税金なんて知らないと思っている人がいましたが、これから見てもらう主人公も同じ

気持ちです。「消費税なんかなくなっちゃえばいい」と叫んだ後、どうなったかよく見ていてください。税金がないとどうなるのかも注意して見てくださいね。

「マリンとヤマト 不思議な日曜日」

ビデオ視聴

—もし、税金がなかったら？—

- ・救急車を呼ぶのにお金がかかるかもしれない。
- ・火事を消火するのにもお金がかかるかもしれない。
- ・ゴミを捨てるのが有料になるかもしれない。
- ・お巡りさんに道を尋ねたり、泥棒を捕まえてもらうのにもお金がかかるかもしれない。

A 今まで、税金を使っていたんだね。

じゃあ、税金がないと困る。

いろいろ助けてもらえないかも・・・

⑤Q 税金の使い道はどこで決めているのでしょうか。

A・・・難しい

国会で話し合われて決められています。つまり、わたしたちが決めていることになります。

まとめ

税金を納めることは、国の一番大事なきまりです。みんなが税金を出し合い、力を合わせて住み良い生活にしているんですね。



8 活動をふりかえって

- (1) 税金が、学校内をはじめとするたくさんの公共施設に使われていることを知り、公共物の使い方について一人一人が見つめ直す良い機会になった。
- (2) 税金についてほとんど何も分からなかった児童に対して、租税教育用ビデオの視聴は、税金について関心を持たせたり、理解させたりするのに効果的であった。
- (3) 税金は、みんなが健康で安全に生活していくために、不可欠なものであることを理解することができた。

租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立上沼小学校
教諭 佐藤 勉

1 実践授業について

単元名	私たちの生活と政治 小单元「わたしたちの願いを実現する政治」
小单元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。 ○ 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習課題を見だし、公共施設を見学したり各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治には国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。
児童の実態	「税金」という言葉をほとんどの児童が知っていた。知っている税金の種類としては「消費税」が一番多かった。「なぜ、税金があるのか」を尋ねたところ「分からない」が一番多く、「公共のために使われている」と答えたのは5名だった。税金の必要性について、はっきりと必要であると感じている児童は少ない。

2 小单元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	・子育て支援事業など地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち進んで調べようとしている。
社会的な思考・判断・表現	・子育て支援事業など地方公共団体や国の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現すると共に、地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	・子育て支援事業など地方公共団体や国の政治の働きについて、子育て支援施設を見学したり、各種資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取り、レポートや作品にまとめている。
社会的事象についての知識・理解	・地方公共団体や国の政治の基本的な考え方や仕組み、子育て支援などの事業を実現するために地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、これらの事業を進め国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることを理解している。

3 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援センターの見学 ・子育て支援センターを見学し、利用者インタビューして、幼い子どもをもつ親の 	・子育て支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさ

	願いについて話し合う。	せる。
2	○ソーレの活動 ・子育て支援センターを見学したり，所長さんの話を聞いたりして，どんな目的で，どんな活動が行われているかを調べる。	・子育て支援センターで行われている様々な活動の目的について考えさせる。
3	○住みよい町を目指して ・市役所や市議会を見学したり，市役所の人のお話を聞いたりして，市役所や市議会の働きについて調べる。	・子育て支援センターの活動が始められた経過について，市役所や市議会の働きかけと関連付けて調べさせる。
4 本 時	○税金の働きを調べる ・子育て支援センターを建設したり運営したりするための費用がどこから出ているのか，ゲストティーチャーのお話を聞いて理解を深める。	・法人会女性部の方々をゲストティーチャーにお迎えして，専門的な立場から指導していただくことにより，税の役割や必要性について気付かせる。
5	○国の政治1「国会の働き」 ・国会や選挙に関する資料を調べ，国会の仕組みや働き，選挙の役割について分かったことや考えたことを話し合う。	・国会の仕組みや働きについて国民の願いとの関係で調べさせる。
6	○国の政治2「内閣の働き」 ・内閣に関する資料を調べ，内閣の仕組みや働きについて分かったことや考えたことを話し合う。	・内閣の仕組みや働きについて国民の願いとの関係で調べさせる。
7	○国の政治3「裁判所の働き」 ・裁判所に関する資料を調べ，内閣の仕組みや働きについて分かったことや考えたことを話し合う。	・裁判所の仕組みや働きについて国民の権利との関係で調べさせる。
8	○もっといろいろ調べてみよう ・東松山市で行われている，様々な福祉事業について，資料をもとに調べる。	・東松山市の福祉事業について，グループや個人で調べさせる。
9	○まちづくりにわたしたちの声をいかそう ・学習したことをもとに，みんなの願いを生かした公園をつくるために，どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。 ○国民の祝日について考えよう ・国会で作った法律によって定められた国民の祝日について話し合う。	・子どもやお年寄りなど，いろいろな人が公園に対してどのような願いを持っているかを考えさせる。 ・それぞれの祝日について，設けられた意義について考えさせる。

4 本時の学習

本時の目標	税金が私たちの生活に重要な役割を果たしていることや税金の必要性について理解する。	
授業づくりの視点	<p>① 法人会女性部の方々をゲストティーチャーとして招いて租税教室を実施することで、税に関する専門的な知識を学び、税についての理解をより深めていく。</p> <p>② 税金がない世界を知ることによって、なぜ税金を納めることが国民の義務になっているかを考えさせ、日本国憲法の学習へとつなげていく。</p>	
学 習 内 容		学習の様子や児童の反応
<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>もし、税金がなかったら、わたしたちの生活は、どうなるのだろうか。</p> </div> <p>2 ゲストティーチャーを紹介する。</p> <p>3 法人会女性部の方々の話を聞き、税金について考える。</p> <p>(1) 知っている税金の種類を発表する。</p> <p>(2) 世界の消費税について知る。</p> <p>(3) 税金を納めたいか、納めたくないかを発表する。</p> <p>(4) DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴し、税金のない世界について考える。</p>	<p>○税金がわたしたちの生活とどのように関係しているのか、本時の学習内容について知らせる。</p> <p>○ゲストティーチャーである法人会女性部の方々を紹介する。</p> <p>・消費税 ・住民税・所得税</p>  <p>・国によって消費税の金額が違う。</p> <p>・スウェーデンは高いなあ。</p> <p>・アメリカは州ごとに税金の金額が決められているのか。</p> <p>・納めたい (3人)</p> <p>・納めたくない (15人)</p> <p>・どちらともいえない (16人)</p> <p>・警察に助けをもらうのに、種類によってお金を支払うなんて考えられない。</p>	

- (5) 学校と税金の関係について考える。
- ・校舎を建てるのも税金です。
 - ・教科書も税金で支給されます。
 - ・備品を買うのにも税金が使われます。
 - ・学校に月謝があったら一人あたり月に約7万円かかります。

(6) もう一度、税金を納めたいか、納めたくないかを発表する。

(7) 1億円のレプリカを持ち、重さを体感し、お金の価値について考える。

4 税金の働きについて知ったことをまとめる。

- ・公園が荒れ果てて、使えなくなるのはいやだなあ。



- ・学校以外にも道路や橋、公共施設のために使われることを知る。
- ・納めたい (18人)
- ・納めたくない (5人)
- ・どちらともいえない (11人)



・税金について学んだことを発表する。

< 授業後の児童の感想 >

わたしは、消費税がどうしてあるのか分かりませんでした。今日の勉強で、学校や道路などに使われていることがわかりました。

1億円のお札が、とても重かったのでびっくりしました。

わたしは、税金がないと世の中が大変になることがわかりました。火事になったり、地震になったりしたときに税金のおかげで助けてもらえるんだなあと思いました

平成25年度 租税教育実践例（第5学年）

登米市立中津山小学校
教諭 菅原 真理

1 題材名「税金の働きを知ろう」

2 指導にあたって

(1) 題材について

本校は、金銭教育指定校として働くことの意義に焦点をあてて指導を行っている。働くことで家族が収入を得て、生活していることは分かっている児童が多い。しかし、税金については、自分たちの生活に身近な消費税は知っているが、税金の仕組みはよく分かっていない。そこで、税金の仕組みについて興味・関心を高めさせ、自分たちの生活に結びつけていきたい。

(2) 児童の実態（男10名 女16名 計26名）

児童に税金に関するアンケート調査を実施した。その結果は下記の通りである。

1	「税金」という言葉を知っていますか。	・知っている 15名	・知らない 11名				
2	どんな「税金」を知っていますか。	・消費税 15名	・ガソリン税 2名	・本の税 1名			
3	「税金」はどんなことに使われていると思いますか。	・分からない 13名	・みんなのため 7名	・国のこと 3名	・学校の教科書 1名	・工事 1名	・交通整理 1名
4	「税金」は必要だと思いますか。	・思う 16名	・思わない 10名				
5	「税金」はなぜ納めなければならないと思いますか。	・分からない 22名	・みんなの安全を守る 1名	将来の年金 1名	・大変なことになってしまうかもしれないから 2名		
6	税金について知りたいことは何ですか。	・税金の目的	・税金の意味	・税金の使い道	・税金の種類		

アンケート結果から、税金という言葉を知っている児童は半数以上いるが、そのほとんどが消費税であった。税金の使われ方については、みんなのためと答えている児童もいるが、半数の児童はよく分からないと答えている。また、税金の必要性についても必要だと思う反面、なぜ納めなければならないのかという理由は分からない児童がほとんどだった。

(3) 指導の着眼

児童の実態から、税金に興味・関心をもたせ、税金の働きについての理解を深めさせ、税金の必要性に気付かせたいと考えた。

そこで、登米法人会青年部からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで、税の必要性に気付かせると共に、正しい知識を学び、理解を深めさせる。

3 指導計画（3時間扱い）

時間	学習のねらい	主な活動内容
1	○税金について調べる。	・身の回りの税金について調べたことを伝え合う。
2 (本時)	○税金の働きについて知る。	・ゲストティーチャーを招いて租税教室を実施し、税金の使われ方や必要性を理解する。
3	○これからの税金について考える。	・租税教室で学んだことをまとめ、今後の自分たちの生活と税金について考える。

4 本時の指導

(1) ねらい

税金の働きに関心を持ち、税金の働きについて理解する。

(2) 学習の流れ

段階	学 習 活 動	学 習 の 様 子
つ か む	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">税金の働きを知ろう。</div> 2 ゲストティーチャーを知る。	・税金についての学習を行うことを確認し、ゲストティーチャーを紹介した。 
考 え る	3 法人会青年部の方の話聞き、様々な税金について考える。 (1) 知っている税金を発表する。 ・消費税 ・国税 ・法人税 ・酒税 (2) 世界の消費税について知る。 ・日本は5% ・中国は17% ・韓国は10% ・1番高いのはスウェーデンの25% (3) 税金の種類について知る。 ・全部で約50種類もある。 ・国税、地方税などがある。 (4) 宝くじに税金がかかるか考える。 ・1億円のレプリカを見る。 ・「非課税」といい、税金はかからない。 (5) 税金を払う必要があるかどうか考え、発表する。 ・税金はいらない・・・16名 ・税金は必要・・・8名 ・微妙・・・2名	・身近な消費税について話を聞く。  ・税金の種類がたくさんあることを知る。  ・税金が必要かどうか考える。 

<p>考 え る</p>	<p>(6) ビデオ「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴し、もしも税金がなかったらどうなるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんお金を払わなければなくなる。 ・道路の修理ができないし、信号機も止まるので困る。 ・ゴミ収集車と救急車にもお金がかかる。 ・学校の机やいすなどがなかったら困る。 ・道路が有料になり、こわれた道路や橋などが直せない。 ・火事を起こしたら全部自分たちで払わないといけない。 ・公園も学校もなくなってしまう。 <p>(7) 学校と税金の関わりを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の月謝が7万円になる。 ・学校の教科書や机、いすにも税金が使われている。 ・小学校を卒業まで500万円以上の税金が使われている。 <p>(8) みんなの生活のために使われている税金を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県や市町村 ・消防署や警察署 ・ゴミの処分 ・交通標識や信号 ・災害対策や除雪 ・東日本大震災の復興のため <p>(9) 国民の3大義務を知る。</p> <p>①教育を受けさせる義務 ②勤労の義務 ③納税の義務 → 健康で豊かな生活を送れるようにするためにみんなが出し合う「会費」</p> <p>(10) 1億円の量と重さを体感し、高額な金額に実感をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1億円はけっこう重い。 ・10kgもある。 ・一束は1kgで、一千万円だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを視聴する。  <ul style="list-style-type: none"> ・税金の使われ方を知る。  <ul style="list-style-type: none"> ・1億円を一人一人持ち、重さを実感する。 
<p>ま と め る</p>	<p>5 税金が必要かどうかについてもう一度考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金はいらない・・・0名 ・税金は必要・・・26名 <ul style="list-style-type: none"> ・税金は必要だということが分かった。 ・税金はとっても大切なものだ。 ・税金がないと大変なことになるから必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の必要性について理解を深める。 

5 評価

税金の働きに関心を持ち、税金の働きについて理解することができたか。(発言・ワークシート)

6 振り返り（児童の感想）

- 税金は、国や地域のために納めていることやみんなのために使われていることが分かりました。
- 税金にはいろいろな種類があり、いろいろな使われ方があることが分かりました。
- 税金は、人々の安全を守り、役に立っているものだということがよく分かりました。
- 税金の種類やどうして必要なのか、どう使われているかが分かりませんでした。分かりやすく教えていただいたおかげでよく分かりました。
- 税金の種類や役割、大切さを知り、とても勉強になりました。税金は私たちのためにあるということを考えて生活したいと思います。
- DVDを見て、税金がなぜ必要か、なぜ税金があるのかを知り、すごく勉強になりました。
- 税金について、最初は どうしてあるのか、何のために使うのか分かりませんでした。でも、税金がなくなった町、世界を考えてみると大変なことになるということが分かり、とても勉強になりました。その他にも、外国の税金についてもわかったし、宝くじに税金がないのにはびっくりしました。税金の大切さを知ることができました。
- この間まで税金のことがよく分からなかったし、消費税なんかなくなってしまえばと思っていました。でも、税教室でいろいろな税金があることが分かったし、税金は国や地域の人たちなどいろいろな人の役に立っていることが分かりました。
- 税金はお金がかかってなくてもいいと思っていたけど、税金がないと教科書などが有料になったり、学校のいすや机などを自分で買わなければならなかったりする。税金はすごく大切なお金なんだと思いました。

平成25年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立石越小学校
教諭 門田 洋之

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治
小単元名 わたしたちの願いを実現する政治 ―税金の働きについて―

2 単元について

（1）単元について

本単元は、学習指導要領の内容（2）「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること・・・」を受けて設定したものである。学習内容としては、「地方公共団体や国の政治の働き」と「日本国憲法の基本的な考え方」の2つに分けて、具体的な事例に即して進めていく構成になっている。そして、これらを学習する過程で、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解することができる。また、それらをふまえた上で税金の果たす役割、意味の大きさにも気付くことができると考える。

（2）児童の実態（男22名 女16名 計38名）

事前に「税金」についての質問を行った。「税金」という言葉は全員が知っていた。また、知っている税金の種類は、「消費税」が圧倒的に多く、「自動車税」、「所得税」、「市民税」など一部の児童から出された。「税金という言葉から思い浮かぶこと」では「高い」、「払いたくない」、「もったいない」、「無ければよい」などの反応があった。正しい知識や理解はほとんどなく、保護者やテレビなどからの何気ない情報を耳にしたことからくる反応と考えられる。また、税金の使われ方にも多様な意見が出され、正しいものもあれば、「よく分からない」、「建物」、「みんなが使うもの」など、曖昧な意見も多かった。税金の使われ方がよく分かっていないため、「税金は必要か」という質問には、「必要ない」、「微妙」の回答が多く、「必要」と答えた児童は数名にとどまった。

（3）指導の着眼

児童の実態を踏まえて、以下のような点に留意して指導にあたりたいと考える。

- ① 社会科では、これまで日本の歴史の学習の中で、年貢などの「税」に関する学習も行ってきている。古くから「税収制度」があったことを想起させ、現代との相違点なども考えて税についての理解を深めさせたい。
- ② 「税金」と一言でいっても、種類や納め方、使われ方等々理解しなければならないことは多い。本単元では、納められた税金はどんなことに、そしてだれのために使われるものなのかにポイントをしばって指導する。
- ③ 佐沼税務署から講師（ゲストティーチャー）を招いて、専門的な立場から税金について話をしてもらい、より理解を深めるようにする。
- ④ 税金についての調べ学習を行い、疑問や分からないことを課題に設定させ、進んで学ぼうとする意欲を高める。

3 小単元の目標

- ・ 地方公共団体や国の政治の働きを理解し、国民生活とのかかわりを考えようとする。
- ・ 調べたことをまとめ、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

4 指導と評価の計画（本時：4 / 10）

時	○主な学習活動	・指導上の留意点	*評価の規準
1	○子育て支援センター（ソーレ）の見学 ・幼い子供をもつ親の願いについて話合う。	・活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。	【関】【思】*利用者の願いや活動の様子に関心を持ち学習問題を考え表現している。
2	○ソーレの活動 ・どんな目的で、どんな活動が行われているのか調べる。	・さまざまな活動の目的について考えさせる。	【知】*さまざまな活動は、市民の願いに基づいていることを理解している。
3	○住みよいまちを目指して ・市役所や市議会の働きを調べる。	・支援センターの活動と市役所、市議会の働きとを関連づけて調べさせる。	【技】*わたしたちの願いを実現するための市の政治の働きを調べまとめている。
4 本 時	○税金の働き ・公共施設の建設や運営するための費用はどこから出ているのか考える。	・公共施設の建設や運営するための費用を考えることによって、税金が重要な役割を果たしていることに気付かせる。	【知】*市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、理解している。
5	○国の政治1—国会の働き ・国会の仕組みや働きについて考えたことを話合う。	・国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関係で調べさせる。	【知】*国会は国民の願いに基づいて話合っていることや国会議員は選挙で選ばれていることを理解している。
6	○国の政治2—内閣の働き ・内閣の仕組みや働きについて考えたことを話合う。	・内閣の仕組みや働きについて、国民の願いとの関係で調べさせる。	【知】*内閣は総理大臣が中心となって国の仕事を進めていることを理解している。
7	○国の政治—裁判所の働き ・裁判所の働きについて考えたことを話合う。	・裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。	【知】*裁判所は法律に基づいてさまざまな問題を解決し、国民の権利を守る仕事をしていることを理解している。
8	○もっといろいろ調べてみよう ・税金について、疑問や分からないことについて調べる。	・第4時の学習から、疑問に思ったことやもっと知りたいことなどを調べさせる。	【関】税金の仕組みや種類、使われ方などに関心をもってしらべている。
9	○まちづくりにわたしたち声をいかそう ・みんなの願いをいかした公園をつくるために話合う	・子供からお年寄りなど、いろいろな人が公園に対してどのような願いをもっているか考えさせる。	【思】*他の人々の願いを考え、尊重しながら話合ったり、自分の意見を表現したりしている。
10	○国民の祝日について考えよう ・法律によって定められた国民の祝日について話合う。	・それぞれの祝日について、設けられた意義を考えさせる。	【思】*それぞれの祝日の意味や由来を調べ、設けられた意義について考え話合っている。

5 本時の学習 —「税金」の働きについて考えよう—

(1) 本時のねらい

- ・税金がわたしたちの生活に重要な役割を果たしていることに気づき、税金の必要性や納税の義務などについて理解する。

(2) 指導にあたって

- ・本時は、佐沼税務署から講師（ゲストティーチャー）を招いて、専門的な立場から税金について話をしてもらい、より理解を深めるようにする。

(3) 学習過程 (別紙)

段階	主な学習活動	学習の様子 (○) や児童の反応 (C:)
導入	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">税金の働きについて考えよう</div> <p>2 ゲストティーチャーを紹介する。</p>	<p>○税金の役割や必要性、生活との関連など本時の学習内容を知らせる。</p>  <p>○佐沼税務署から講師の先生をお呼びして授業の開始。</p>
展開	<p>3 ゲストティーチャーの話を聞き、税金について考える。</p> <p>(1) 知っている税金を発表する。</p> <p>(2) 一億円の体積と重さを実感する。 ・ 10 kg</p>  <p>(3) 世界の消費税率について知る。</p>  <p>(4) 税金の必要性を考える。 ・ 税金を払いたいのか、払いたくないのか。</p>	<p>C:「消費税」, 「5%」, 「8%になる」 C:「10%って聞いたよ」 C:「所得税」 C:「市民税」 C:「自動車税」</p>  <p>C:「お、重い・・・」 C:「すごい量だな」, 「ほしい」</p> <p>C:「日本は少ないほうだね」 C:「スウェーデンが25%だ」 C:「20%の国も多いな」</p> <p>○北欧諸国は福祉が充実していることや医療費がほとんど無料であることなどが話される。</p> <p>○「払いたい」に挙手した児童は数名で、「払いたくない」のほか、「微妙・・・」と手を挙げた児童が多かった。</p>

(5) DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する。
 ・税金がなくなったらどうなるかを考える。



(6) 視聴後、税金の必要性について同じ質問を行う。

○「払いたくない」はいなくなり「払ったほうがいい」という意見が多かった。しかし、中にはまだ「微妙」と答える児童もいた。

C：税金は大切。

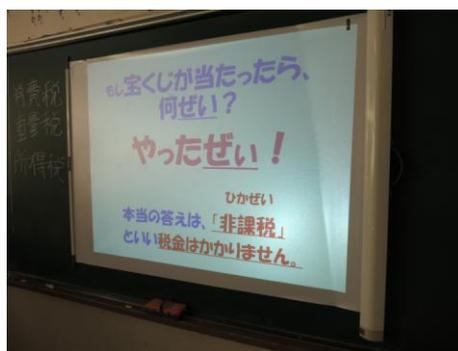
C：払わないと大変なことになる。

(7) 学校と税金の関係を考える。



- ・一人当たりの教育費
 - *小学生月額 71,400円
 - *中学生月額 83,800円
 - *高校生月額 83,400円

○宝くじについては、税金がかからないことも教えていただいた。



○学校施設関係も税金が使われていることを理解する。もし、税金がなければ大変なことに……。また、公共の施設に使われることや納税の義務、大切さなどについて話していただく。

終末 4 感想を発表する。

C：税金の大切さがよく分かりました。
 C：教科書や机、いすなどにも税金が使われていることが分かりました。

(本時の事後指導として)
 ○ゲストティーチャーの佐沼税務署職員の方へお礼の手紙を書く。



(4) 評価

- ・税金の必要性や納税の義務などについて理解することができたか。

6 児童のお礼の手紙から

先日は税金のことをいろいろ教えていただきありがとうございました。
非課税や消費税の大切さなどとても勉強になりました。
私は最初、消費税をはらいたくないと思っていたけどアニメを見て消費税の大切さを知り、はらわなければならないと思いました。
税金のことがよく分かるので楽しく勉強できました。

先日は、税金について色々おしえていただきありがとうございました。
税金の種類がいっぱいあってすごいと思いました。税金がないと、町の道路や公園がなくなることがわかりました。
学校の学費が月7万円はびっくりしました。
税金がないと大変なんだとあらためて思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

先日は、おもしろい中来ていただきありがとうございました。
分かりやすく教えてくださり、初めて知ることがたくさんありました。私はDVDを見てびっくりしたことがありました。それは、税金は身近なところで使われているということです。税金がない世界では、不便なことがたくさんあるということを初めて知りました。
税金の種類もたくさんあり、びっくりしました。この授業で税金についてたくさん学びました。本当に、ありがとうございました。

先日は石越小学校に来て頂き、ありがとうございました。
私は税金のことは全然分からなくて、でもビデオなどを見て税金が必要なんだなと思いました。
あと、たくさん税金があることを知らなかったの、楽しく学べてよかったです。
1億円のお札やクイズなど楽しく教えてくれてありがとうございました。

先日は、おもしろいところ税金のことを教えに来ていただきありがとうございました。税金のDVDを見て税金がなくなったらいへんということも学びました。税金の種類がたくさんあってびっくりしました。私はあまり税金のことがわからなかったのでも勉強になりました。大人になっても税金のことをおぼろげにしたいです。おもしろいところ来ていただき本当にありがとうございました。

ぼくは、税金については、これまであまり考えたことがありませんでした。だから税金はどんな役割があるのか、なぜ必要なのか分かりませんでした。でも、今回こうしてお話をいただいたことで、税金とは何で、どういう役割をしているかがよく分かりました。また、ビデオでも、もし税金がなくなったらどうなるかが分かりました。今回はいろいろなことを教えて頂き、ありがとうございました。

平成25年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立西郷小学校
教諭 佐藤 眞紀

1 単元名 私たちの生活と政治
わたしたちの願いを実現する政治 - 税金の働きを調べる -

2 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容（2）ア「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受け、地方公共団体や国の政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解させることをねらいとしている。

そのためには、市や県、国による社会保障、高齢者や障害者のための福祉政策、健康医療に関する事業、風水害、地震や津波、土砂災害、噴火などの災害復旧の取組、地域の開発などの事例を取り上げ、その事業が国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを具体的に調べさせる。

ここでは、公共施設の建設を取り上げ、市民の要望から公共施設の建設がどのようなプロセスで行われるのかや、その費用には、どのようなお金が使われるのかという観点から、税金について児童に考えさせていきたい。また、自分たちが学校で毎日のように使っている机や椅子なども税金でまかなわれていること、さらに3年前に東日本大震災で被害にあった本校の校庭にも税金が使われていたことにも触れる。その中で、税金にはどのようなものがあり、だれが納め、どのようなことに使われているのかについて理解させるとともに、納税の大切さについて気付かせていきたいと考える。

(2) 児童の実態（男9名 女14名 計23名）

ほとんどの児童が、「税金」という言葉を知っており、知っている税金の種類として挙げたものは「消費税」が多かった。また、税金は「みんなのために使われるお金」という認識はもっており、税金が自分たちの暮らしのために使われているということは理解できている。しかし、必要なものとは理解していても、実際の場面となると、「自分で払うお金は少しでも安い方がいい。」「4月からなぜ消費税を増税するのか」という声も聞かれている。

このことから、自分たちの暮らしのために税金は必要だという理解をさらに深めさせるとともに、もし税金がなかったら自分たちの暮らしはどうなるのかということを考えさせ、税金について正しい知識を身に付けさせたい。

(3) 指導の着眼

- 税についての理解が一層深められるよう、登米法人会の方にゲストティーチャーとしておいでいただき、専門的な立場から税について指導していただく。
- 税金がない生活を自分たちの日常生活に置きかえて実感させるために、DVDを視聴させ、税金が自分たちの生活に大きくかかわっており、納税は国民の義務となっていることを理解させる。
- 「税に関するパンフレット」を活用し、税金に対する関心を高めたり、詳しく調べさせたりする。

3 小単元の目標

- 地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが

反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。

- 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見だし、公共施設を見学したり各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

4 小単元の評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、進んで調べようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考えて表現するとともに、地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。
- 観察・資料活用の技能
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、子育て支援施設や市議会などを見学したり、各種資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取り、レポートや作品などにまとめている。
- 社会的事象についての知識・理解
地方公共団体や国の政治の基本的な考えやしくみ、子育て支援などの事業を実現するために地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、これらの事業を進め国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることを理解している。

5 指導計画（9時間扱い 本時4時間目）

時	おもな学習活動	指導上の留意点
1	○子育て支援センターの見学 ・子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。	・子育て支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。
2	○ソールの活動 ・子育て支援センターを見学したり、所長さんの話を聞いたりして、どんな目的で、どんな活動が行われているのかを調べる。	・子育て支援センターで行われている、様々な活動の目的について考えさせる。
3	○住みよいまちを目指して ・市役所や市議会を見学したり、市役所の人話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。	・子育て支援センターの活動が始められた経過について、市役所や市議会の働きと関連づけて調べさせる。
4 本時	○税金の働きを調べる ・子育て支援センターを建設したり運営したりするための費用や、地震の被害を受けた西郷小学校の校庭を直したのにかかった費用は、どこから出ているのか考える。	・登米法人会の方をゲストティーチャーに迎え、専門の立場から指導していただくことにより税金が重要な役割を果たしていることに気づかせる。

5	○国の政治1－国会の働き ・国会や選挙に関する資料を収集し調べ、国会の仕組みや働き、選挙の役割について、わかったことや考えたことを話し合う。	・国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関係について調べさせる。
6	○国の政治2－内閣の働き ・内閣に関する資料を収集して調べ、内閣の仕組みや働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	・内閣の仕組みや働きについて、国民の願いとの関係で調べさせる。
7	○国の政治3－裁判所の働き ・裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	・裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。
8	○もっといろいろ調べてみよう ・東松山市で行われている、さまざまな福祉事業について、収集した資料をもとに調べる。	・東松山市の福祉事業について、グループや個人で調べさせる。
9	⑨－1まちづくりにわたしたちの声を生かそう ・学習したことをもとに、みんなの願いを生かした公園を作るために、どのような配慮をしたらよいか話し合う。	・子どもやお年寄りなど、いろいろな人が公園に対してどのような願いをもっているのかを考えさせる。 ・それぞれの祝日について、設けられた意義について考えさせる。
	⑨－2国民の祝日について考えよう ・国会でつくった法律によって定められた国民の休日について、話し合う。	

6 本時の学習

(1) 小単元名 「税金の働きを調べる」

(2) 本時のねらい

税金が私たちの生活に重要な役割を果たしていることと、納税が私たちの大切な義務であることを理解する。

7 授業の流れ

段階	学 習 活 動	学 習 の 様 子	準備物等
つかむ 5分	1 本時の学習課題を確認する。 自分たちの生活を税金のかかわりを考えよう。 2 ゲストティーチャーを紹介する。		

<p>広 げ る 30 分</p>	<p>3 ゲストティーチャーの話聞き、様々な税金について考える。 ○みなさんの知っている税は何ですか。 ○日本の消費税率は、世界の中では何位かな。 ○その他には、どんな税があるかな。 ○みなさんは税金は払いたいですか。</p> <p>4 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する。 ○税金がなくなったらどうなるだろう。</p> <p>5 学校と税金のかかわりを考える。 ○税金がなければ、学校で勉強するのに、どれだけお金がかかるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の種類について知る。 ・日本の消費税は世界の中では低い。 ・消費税が高い国は、医療費が無料になっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・火事になっても、消火に多額のお金がかかってしまう。 ・街の中がごみだらけになってしまう。 ・道路や橋を渡るのにお金を払わなければならなくなってしまう。 ・1ヶ月に7万円かかる。 ・中学校、高校と、さらにお金がかかる。 	<p>DVDプレーヤー</p>
<p>ま と め る 10 分</p>	<p>6 国民の義務である税金の必要性について確認する。 ○今日の授業で税金を払った方がよいと思ったか。</p> <p>○1億円の重さを体験してみよう。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり税金は必要。 ・ちゃんと納めなきゃいけないことがわかった。 	<p>【評価】税金の大切さを知り、納税の義務についての意識が高まったか。</p> <p>一億円のレプリカ</p>

8 児童の感想

- 税金が何に使われているのかがよくわかりました。もし税金がなかったら、私たちの生活が大変になると思いました。
- 税金には、消費税・市県民税・所得税などいろいろな税があり、その税の使われ方にそれぞれ意味があることがわかりました。
- 国によって税金の金額がちがうことがわかりました。日本より税金の高い国がたくさんありました。
- 11月に標語を作った時は、はっきりした意味がわからなかったけれど、今日の勉強で、税金が大事なものとわかりました。

9 税金に関する作品応募（クラス全員）

11月 第1回「税に関する標語」入賞作品

- 優秀賞 いろんな税 みんなの暮らしを 支えてる
優良賞 税金は みんなの未来 支えてる
税金で みんなの生活 守ります
佳作 税金は みんなの未来 作ってる
安心社会を作るため きちんと税金 納めよう
税金の 使われ方にも 関心を

1月 税に関する絵はがきコンクール

宮城県法人会長賞



平成25年度 租税教育実践事例（6年生）

登米市立横山小学校
教諭 鈴木 明美

1 はじめに

第6学年小学校社会科では、単元「わたしたちの生活と政治」が租税教育の内容に該当する。その指導内容は、学習指導要領の内容（2）「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること」を受けて構成されている。

公共施設は、国民の願いがベースとなり、「願い」が受理され建設されていく（願いが実現される）過程を調べることで、重要な位置を占める「税金」の必要性に気付かせていく内容となっている。

また、「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること」までを学ぶことができる単元である。

2 指導の実際

（1）単元の目標

○地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。

（2）単元計画

1 わたしたちの願いを実現する政治		
1	子育て支援センターの見学	津山町総合体育館（通称 若者総合体育館）が作られるまでを調べよう。
2	ソーレの活動	若者総合体育館の活用の仕方を考えよう。
3	住みよいまちを目指して	・スポーツ活動に利用 ・避難所として活用 ・学童クラブの開設（小学生の利用）
4	税金の働きを調べる	税金の働きについて知る（本時）
5	国の政治1－国会の働き	
6	国の政治2－内閣の働き	
7	国の政治3－裁判所の働き	
8	もっといろいろ調べてみよう	

9	まちづくりにわたしたちの声をいかそう
	国民の祝日について考えよう

(3) ゲストティーチャーによる租税教室の実施

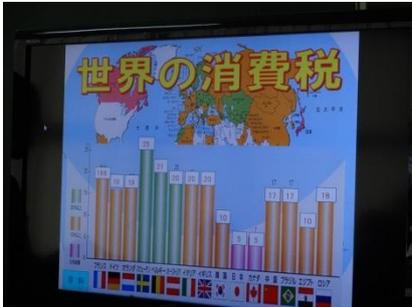
登米法人会からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで、税に関する専門的な知識を学び、税金についての理解をより深めていくことができると考える。

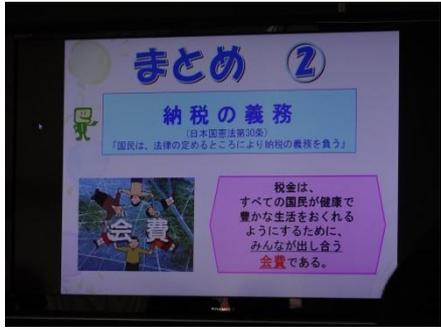
3 本時の学習

(1) ねらい

- ・税金は生活する上で重要な役割を果たしていることを理解する。
- ・納税は大切な国民の義務であることを理解する。

(2) 学習過程

段階	学習活動	学習の様子	準備
つかむ	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>わたしたちの生活と税金の関わりについて考えよう。</p> </div> <p>2 ゲストティーチャーを紹介する。</p>	 <p>・ゲストティーチャーとしておいでいただいた、登米法人会青年部の2名を紹介する。</p>	テレビ P C
広げる	<p>3 ゲストティーチャーの話を聞きながら、税金について考える。</p> <p>(1) 知っている税金の名前を挙げる。</p> <p>(2) 世界の消費税の割合を知る。</p>  <p>(3) 税金の必要性を考える。 ○DVD「マリンとヤマトの不思議な日」</p>	<p>・消費税・住民税・所得税などがあげられた。</p> <p>(日本は5%なのに、スウェーデンは25%も払っている。)</p> <p>(4月からは日本も8%になるのかな。それでも低い方だな。)</p> 	

ま と め る	<p>曜日」を視聴する。</p> <p>(4) 学校内の設備と税金との結びつきを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○税金は国民が支払っている。 ○学校は税金で無償になっている。 ○月謝を払うと高額になってしまう。 <p>4 税金の大切さを理解する。</p>  <p>5 感想発表とお礼の言葉。</p>	<p>・税金の無い世の中の様子を、アニメを通して知ることができた。</p>  <p>・机や椅子、教科書、理科実験器具など、全て税金でまかなわれていることを確認した。</p>  <p>・「必要だと思う」の考えに、全員が挙手する。意識の高まりが感じられた。</p>
------------------	--	---

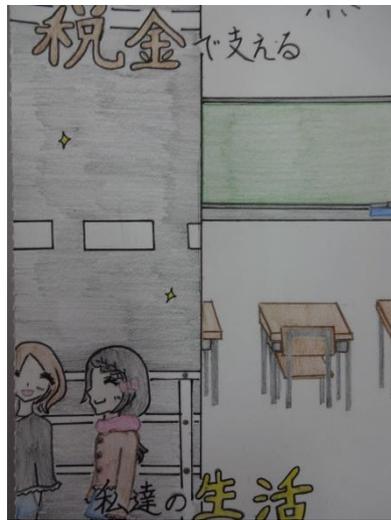


(3) 評価

- ・税金は生活する上で重要な役割を果たしていることを理解することができたか。
- ・納税は大切な国民の義務であることを理解することができたか。

4 活動の様子

○税に関する絵はがきコンクールに応募



○税に関する標語に応募

- ・今知った 5パーセントのありがたみ (佳作)
- ・税金は みんなの暮らしを 守ってる (佳作)
- ・人のために 税金は 役に立つ
- ・税金は 見えないところで 役に立つ
- ・税金は みんなのための お金だよ
- ・ぼくらの机は 国民からの 思いやり
- ・税金が 無いと困るよ 身の回り
- ・税金は みんなのために 使ってる
- ・私たち 税金の力で 守られている

3 学年社会科学学習指導案

指導者 登米中学校 講師 遠藤 孝

1 単元名 第4章わたしたちの暮らしと経済 4節「国民生活と福祉」

2 単元目標

・国や地方公共団体の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。 **【社会的事象への関心・意欲・態度】**

・国や地方公共団体が果たしている役割や財政の役割について、国や地方公共団体の経済活動に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 **【社会的な思考・判断・表現】**

・国や地方公共団体の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめる。 **【資料活用の技能】**

・社会資本の整備、公害の防止や環境の保全、社会保障の充実、租税の種類と意義、役割及び国民の納税の義務について、理解しその知識を身に付けている。 **【社会的事象についての知識・理解】**

3 指導計画（7時間扱い）

学習時間	題材名
第1時	政府の経済活動と租税
第2時	政府の役割
第3時	社会保障のしくみ
第4時	少子高齢化と財政（本時）
第5時	公害の防止と環境の保全
第6時	世界の中の日本経済
第7時	経済プレゼンテーション

4 本時の指導

(1) 題材名 少子高齢化と財政

(2) ねらい

・消費税増税の理由を理解し、自分の言葉で説明することができる。 **【思考・判断・表現】**

・消費税増税から、将来の社会保障の在り方や税の在り方について意欲的に考える。

【関心・意欲・態度】

(3) 準備物

	<p>の在り方とそれを支える税の在り方を考える。</p> <p>〔志教育の視点〕 自分たちが関わる日本の将来について、懸命に考えようとしているか。(かかわる)</p>	<p>ない社会問題であることを補足する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スウェーデンやアメリカの特徴的なメリット,デメリットを簡潔に説明し,判断の材料とさせたい。 		<p>【関】消費税増税から,将来の社会保障の在り方や税の在り方について意欲的に考えているか。(発表)</p>
<p>終 結 10 分</p>	<p>7 学習したことを振り返り,課題について自分の言葉で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の政治の動向にも注目するよう促す。 ・次時の登米っ子課題を提示する。 		

4 少子化高齢化と財政

今日の課題：消費税増税は、何のために!?

私は、消費税増税に 賛成 ・ 反対 です。なぜなら、

○高齢者（65歳以上）が増加 → 社会保障費（医療費や年金給付額）が増加。
現役世代（15～64歳）＝労働力人口が減少 → 保険料 ・ 税収 が減少。



そこで、様々な取り組みが...

- ・ 国民健康保険と国民年金が統合
- ・ 介護保険制度：40歳以上が加入。介護サービスを受けられる。
- ・ 後期高齢者医療制度：75歳以上が加入。国民健康保険，健康保険から切り離す。

※それでも、現在の日本は財政難（国債赤字が1,000兆円を超えている!!）
安定した財源が必要 → 消費税（景気の変動にあまり左右されない）

つまり、消費税増税の目的は、

ちなみに、外国との比較をすると...

<p>ヨーロッパ型〈高福祉高負担〉</p> <ul style="list-style-type: none">・無差別平等の実現。・高い消費税率（※物によって違う）・教育，医療，失業などは，原則無料。	<p>日本</p> <p>ほぼ中間？</p>	<p>アメリカ型〈低福祉低負担〉</p> <ul style="list-style-type: none">・税率は低い。・医療や年金は，個人の責任（民間）
---	------------------------	--

☆これから、日本はどうすべきだと思いますか？

1 単元名 国民生活と福祉

2 単元観

2014年4月から消費税が段階的に8%に引き上げ、2015年10月に10%に引き上げられる予定である。消費税は、生徒にとって最も身近な税金であり、その引き上げは直接影響が出てくる。消費税の導入の目的や、引き上げなければならない理由などを、現在の社会情勢を考え、既習事項や今後の学習内容との関連を図り、身近な問題として取り上げていくことができる単元である。

生徒にとっては税金の種類や内容、使い道等についてよく分からない。消費税を考えることで、そこから税金の目的や必要性を認識し、身近な存在として捉えることができる。税金がなければ我々の生活は成り立たないことにも気づかせたい。そこで自分たちの生活を考えさせ、どんなところで税金が必要かを考えさせることから学習を始めさせた。

本時では、給与収入から納める税金である所得税について、公平に徴収させる方法を考えさせ、累進課税制度として押さえさせたい。また、消費税を比較し、既習事項である少子高齢化、国民の義務、地方財政などとの関連を図り、学習を進めていきたい。

少子高齢化社会を背負って立つ今の中学生に、日本の現在の課題を考えさせ、今後の学習につなげていきたいと考える。

3 単元目標

- ・統計資料をもとに国の歳入と歳出のあらましについて調べ、財政や租税について関心を持つ。
- ・公平は税負担について考え、租税の仕組みと働きについて理解する。
- ・公債の発行の実態と課題について話し合い、財政のあり方について考え、自分の考えを表現する。

4 評価規準

【社会的事象の関心・意欲・態度】

財政について関心を持ち、税金の使い途について、自らの問題として考えている。

【社会的な思考・判断・表現】

租税の公正な負担と公債の発行について、納税者などの様々な立場から公正に判断している。

【資料活用の技能】

国の歳入と歳出のグラフを読み取り、累進課税の実際について計算している。

【社会的事象についての知識・理解】

財政と税制のあらましについて理解し、その知識を身に付けている。

5 評価

- ・統計資料をもとに国の歳入と歳出のあらましについて調べ、財政や租税について関心を持つことができたか。
- ・公平は税負担について考え、租税の仕組みと働きについて理解できたか。
- ・公債の発行の実態と課題について話し合い、財政のあり方について考え、自分の考えを表現できたか。

